

健全育成シリーズ(133)  
祖父の残してくれた言葉



もうすぐ夏本番です。

私には夏になると思い出す記憶があります。幼いときの夏というものは、大人になった今よりも「暑い」ものでした。エアコンなど無い時代でしたので夏の暑さを体いっぱい感じていたのでしょう。そう感じた暑い暑い夏のある日、家の近くで畑仕事をしていた祖父が、一杯の水を求めて私の家にきました。額から汗を流しながら「水をいれて」そう祖父は所望したのです。私の持つてきた氷水を祖父は、本当に美味しそうに飲み干し「ありがとう」の言葉を残し、畑仕事に戻っていきました。思えば非常に偏屈な人でしたが、幼い私に限らず、何かをしてもらったときには必ず、「ありがとう」の言葉を添える人でした。私もいつしかこの「ありがとう」を口にするようになっていました。

祖父は十年ほど前に他界しましたが、「ありがとう」の習慣は祖父が私に残してくれた財産だと感じています。

言葉には不思議な力があります。人の心を冷たくする言葉。温かくしてくれる言葉。

よく「言葉づかいが乱れている」という事を聞きますが、一体、この現象をどうとらえたらよいのでしょうか。

最近の子ども達が使う言葉の中に「うざい・きもい・むかつく」がありますが、この言葉を使ったその時、子どもに「今、その言葉を使った自分の心を別の言葉に置き換えてみなさい。」と問い返すと返答に窮する事が多々あります。

つまり、自分で自分の心が整理・分析できない時にこうした言葉を使うことが多いように思います。先に挙げた三つの言葉は子どもにとって曖昧で実に都合の良い言葉なのです。

本来、言葉は自分の「心」を伝えるべきものですが、その根本となる自分の「心」を見つめることが出来なくなっているのではないのでしょうか。

私は、人が必ず人生の中で考える三つの疑問があると思っています。「命」について、「神」について、そして、「自分」について。この三番目をじっくりと考える機会が今の子ども達から遠のいていくように感じるのは私だけでしょうか。

もちろん学校の道徳授業などで自分について考える機会がありますが、日常の中で「今のテレビの場面をどう思う、どう考える」などと自分に問う

場面、自分の行為に意味づけする場面は少なくなっていると感じます。家庭での会話が少なくなっているといわれる昨今、こうした場面が減っているのも必然です。しかし、こうした機会を重ねることでよって子どもは、曖昧模糊とした自分を自覚出来るようになっていくのではないのでしょうか。自分づくりのためには自分を問われる場面が絶対に必要です。

このように考えてご家庭を省みた時にどの程度、この自分づくりの場面がありますか。

自分づくり、心づくりが出来ている子どもは、時と場合と相手を感じながら言葉を使うようになり、叱られた事を冷静に受け止められる子どもは「うざい・きもい・むかつく」の言葉を使うことは減っていきまます。

言葉は相手を動かす力を持っています。だからこそ、どのような言葉を使うかは人の心をつなぐ重要な要素となります。自分づくり・心づくりが出来ていないと関係を崩してしまう言葉を安易に使ってしまいがちです。祖父が教えてくれた「ありがとう」は人の心を動かす言葉です。温める言葉です。子どもにもそう教えています。祖父に今も感謝しています。「ありがとう」

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

海外旅行は  
感染症に注意しましょう

夏の訪れとともに、気分は旅モードになり、海外へ旅する方も増えてきます。こんなとき注意したいのは感染症です。

海外で患う感染症は、飲食物やウイルスなどによる下痢症が五十%近くを占めています。海外へ行きますと、せつかく来たのだから、と無理をして体調を崩しがちです。抵抗力が落ちて下痢症になり易くなっています。

リフレッシュの中で頂く飲み水や食物が感染源になります。氷やカットフルーツ、サラダなどは見逃されがちな感染源です。衛生面を考えながら対応しましょう。

また、虫や蚊が媒介する感染症もあります。長袖、長ズボンを着用して賢く避けましょう。

その他、エイズなどの性行為感染症に患う恐れもあります。開放的な雰囲気感に惑わされないう、自己責任を持って行動しましょう。

なお、体調不良などで受診する時は、海外に行つて来たことを必ず伝えましょう。

食中毒にご用心

これから梅雨期をむかえ、特に多く発生する腸炎ブリスト食中毒についてお話しします。

この菌は、海水の中に住んでいて、水温が二〇度を越えると急激に増殖します。これが、魚や貝などの魚介類に付着し、食卓にのぼると、食中毒をおこします。

特に六月から九月にかけては、高温・多湿の季節と重なり多く発生します。この菌による食中毒は、魚介類の生食や加熱調理が不十分なときに多く発生します。またマナ板や包丁からの二次汚染なども原因になります。

腸炎ブリスト菌は、真水と熱に弱い特徴があります。次のことに注意し、発生防止を図ってください。

- ① 刺身など生食用は、冷蔵庫で保存し、早く食べましょう。
- ② 加熱調理をする場合は、水洗いと加熱を十分しましょう。
- ③ 調理器具は清潔に保管し、洗浄・消毒をしましょう。

問合せ

健康福祉部 ☎(22)7827